

海神会だより



鬼界カルデラ調査に鹿児島港に寄港した深江丸



開学祭



お知らせ事項：主要項目・頁を下記に記載

- 2 頁 「新たな時代においても大きな進展を」
内田誠海事科学部長
- 海神会 会長ご挨拶 小見山純郎会長
- 2019年度理事会・総会・懇親会案内
- 3 頁 大学、海神会からのお知らせ
- 6 頁 学内の近況
- 8 頁 研究紹介
- 10頁 OBの活動
- 18頁 学生の活動
- 23頁 ちょっと一息



調査海域で ROV 遠隔操作の無人潜水艇をクレーンで海面に下しています

神戸高等商船学校・神戸商船大学・神戸大学海事科学部同窓会
〒658-0022 神戸市東灘区深江南町5-1-1 神戸大学深江キャンパス内 海神会事務局
同窓会誌「海神会だより」は海神会ホームページ
(<http://www.fukae.org/>)の
「同窓会だより」からもご覧いただけます



背景は薩摩硫黄島



深江キャンパス、新たな時代においても大きな進展を！！

海事科学部長・大学院海事科学研究科長 **内田 誠** E26 期



平成最後となる今年は、創基（川崎商船学校設置認可）102周年、開学（神戸商船大学）67周年、海事科学部創立（大学統合）16周年、海事科学研究科設置（大学院重点化）12周年を迎えます。神戸大学の礎である神戸高等商業学校の設置は川崎商船学校より15年溯りますので、3年後の2022年には大学全体で創立120周年を祝う予定です。

海神会は大学統合の翌年2004年2月28日の誕生ですから、今年は15周年を迎えることになります。なお、私事で恐縮ですが、私自身が学生として深江で学び始めてから42周年、職員として勤務し始めてから37周年を迎えることになり、周りを見回せば、深江で最も長く活動している1人となっています。

さて、2004年の大学法人化以降、国立大学法人の基盤的な財源である運営交付金は縮減が繰り返され、神戸大学においては約2割減少し、競争的資金の獲得、受託研究・共同研究の促進、寄附金の確保など、外部資金を導入する重要性が極めて高くなりました。このような環境変化の中で、機能強化を図り、競争力を高め、初代校長（水島鏡也先生）による建学の精神を引き継ぐ神戸大学の理念「学理と実際の調和」及び「文理融合」を基盤に、大学統合による強み「個性豊かな、海に開かれた総合大学」を掲げた全学的な特長の強化を図っています。大学改革ビジョンの一つとして「海の新学部と研究組織の創生」が謳われ、海事科学研究科（海事科学部）および他の部局ならびに大学執行部が加わり、教育研究及び人材育成において海洋立国をリードする総合大学を目指した熱い議論と検討を進めています。様々な学内外の連携による海洋に関わる先端研究の推進、およびその臨場感のなかで長い歴史に基づく強みと実績（特に、海技者の育成と輩出）を活かした専門教育ならびに人材育成を通じ、海洋立国をリードする総合大学として社会貢献を果たします。

海洋立国において世界を牽引する海洋グローバル人材の育成を効果的に高めるため、就航32年目をまもなく迎える練

習船「深江丸」の早急な代替船新造が不可欠となっています。数年来の検討とMEXTへの相談ならびに要求を重ねてきました。「深江丸」より半年前に就航した僚船（東京）の新造計画を追い抜くことは有り得ない（天の声による）ものの、つい先日、ほぼ同時に新造計画が進行する可能性が高まったとの確かな手応えを得ました。皆様が本記事を目にされる頃には「新造計画進行中」と、報告できることを強く期待しています。

深江キャンパスにおける教育研究が新たな時代においても大きく進展し、海神会の皆様の母校が持続的に発展して社会貢献を果たすため、教職員の更なる努力が不可欠であることは当然のことながら、卒業生の皆様（＝全員が海神会の構成員です）および産業界、諸団体、行政など重要なステークホルダーの皆様のご理解とご支援が大きな前進パワーとなりますので、これまで以上にご理解とご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

神戸大学・海事科学部へ入学を検討される皆様（主として10代後半の若者の皆様）が本記事を目にされる機会を狙い、最後に、一言付け加えます。国内外における海上物流をはじめとする海洋の利活用は、日本はもとより世界の経済活動における基本的で極めて重要なインフラでありながら、その存在と役割があたかも空気のように当たり前過ぎるのか、日頃はあまり重要性が認識されない存在に陥っていることを残念に思っています。少しでも多くの若者の皆さんがこれら日常の環境を振り返り、将来、海事・海洋の社会で大活躍することを目指していただくことを期待します。深江キャンパスにおいて、社会貢献を果たす自負心と責任感を常に強く意識し、「学ぶ力」、「考える力」、そして「活用する力」を体得できる環境を提供します。一緒に勉強し、成長しましょう。



海神会会長挨拶

平成29年6月に前会長の久保雅義先生から海神会会長の重責を引き継いでから、既に一年数ヶ月が経ちました。久々の民間人の海神会会長として、その責務を全うできたかどうか極めて不安ではありますが、神吉行彦前事務局長のご支援を受け、また同期卒業の池田敬滋新事務局長とともに、積年の課題である同窓会費の確保に努め、平成30年度新入生の大多数が海神会に入会いただく事が出来、一定の結果が得られたと考えます。しかしながら今後の同窓会活動の継続には同窓会費の値上げが避けられないと判断し、主として来年度新入生から終身会費を大多数の他学部同窓会費と同額の4万円とすることを提案し、理事会・総会のご了承を得ました。

新事務局長と折に触れ話し合っており、各期の会費未納同窓

海神会会長 **小見山 純郎** N17 期



生の掘り起こしが重要課題であるとして、クラブ活動の同窓会等の機会を捉えて、終身会費の納入を促すように依頼することといたし、皆々様のご協力をお願いいたします。

また就任のご挨拶でも触れましたが、我々の在学中の神戸商船大学は、日本海運・造船業を担う海技者の教育・養成を第一義として存在していましたが、その後の大学改革と神戸大学との統合により、現在の海事科学部の有り様が旧商船大学卒業生にも解り辛く思っているように思います。それらの紹介も我々海神会の役割の一つと考えています。併せてご協力を宜しくお願い致します。

2019年度海神会理事会・総会・懇親会の日時、場所が決まりました。

日 時：2019年5月25日(土)

理事会会場：総合学術交流棟梅木1F Nホール、14:00～15:00

総 会 場：総合学術交流棟梅木1F Yホール、15:00～16:30

議 題：平成30年度収支決算、2019年度予算、
役員交代、活動報告など

懇 親 会：総合学術交流棟梅木ホール、16:30～18:00

尚、当日は深江祭と同時開催です。

参
加
申
込
先

同窓会総会及び懇親会に出席される方は

FAX 又はメールにて

ご連絡いただきますようお願い致します。

TEL/FAX : 078(431)6439

E-MAIL:

almamata@maritime.kobe-u.ac.jp

2019年度 第14回ホームカミングデイは10月26日(土)です。

海神会評議会も上記と同会場にて当日13:30～14:30を予定しています。詳細お追ってお知らせします。どうぞ、ご参加ください。お待ちしております。

会計報告



平成30年度 第15回総会式次第

開催日時：平成30年6月9日(土) 15:00~16:30

開催場所：総合学術交流棟 1F 梅木Yホール

- 1.開 会
- 2.会長挨拶
- 3.議長選任
- 4.議事録署名人の選出
- 5.議 案

第1号議案：平成29年度事業報告、収支決算及び監査報告について

第2号議案：平成30年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

第3号議案：役員、理事、評議員他の選任について

第4号議案：終身会費の改定について

6.内田 誠海科学部長より「母校の近況報告」がなされた

7.小見山純郎会長より新入学生のオリエンテーション活動について報告がなされた

8.閉 会

平成29年度 海神会 収支決算書

(単位:円 平成29年4月1日から平成30年3月31日迄)

科 目	29年度予算額	29年度決算額	差 異	備 考
I.収入の部				△は実収入>予算額を示す
1.会費収入	6,330,000	4,816,000		
2.雑収入	100	529,018		
当期収入合計(A)	6,330,100	5,345,018	985,082	

II.支出の部				△は実支出>予算額を示す
1.事業費				
総会経費、会誌発行、送料等	1,185,000	1,300,111	△ 115,111	
HP維持、クラス会、学部支援	1,516,000	1,261,304	254,696	
関係団体、支部、部活経費等	1,425,000	1,268,713	156,287	
小計(a)	4,126,000	3,830,128	295,872	

2.管理費				
人件費、会議、交通費等	1,920,000	2,005,200	△ 85,200	
印刷、通信、消耗品	87,000	84,328	2,672	
事務費、光熱費、雑費等	197,100	194,320	2,780	
小計(b)	2,204,100	2,283,848	△ 79,748	

当期支出合計(B=a+b)	6,330,100	6,113,976	216,124	
---------------	-----------	-----------	---------	--

当期収支差額(C=A-B)	0	△ 768,958		
---------------	---	-----------	--	--

平成29年度繰越金	
平成28年度前期繰越金	4,334,713
平成29年度収支差額	△ 768,958
次期繰越金	3,565,755

※収支決算書並びに予算書に於いて疑問点がありましたら事務局までお問い合わせください。

平成29年度 海神会 特別会計 収支決算書

(単位:円 平成29年4月1日から平成30年3月31日迄)

科 目	29年度予算額	29年度決算額	差 異	備 考
1.収入の部				△は実収入>予算額を示す
預金利息	9,500	15,748	△ 6,248	定期普通預金利子
収入合計(A)	9,500	15,748	△ 6,248	

2.支出の部				
送金手数料	0	0	0	
支出合計(B)	0	0	0	

次期繰越収支差額(C=A-B)		15,748		
-----------------	--	--------	--	--

平成29年度繰越金	
平成28年度繰越金	28,837,312
平成29年度収支差額	15,748
次期繰越金合計	28,853,060

平成30年度 海神会 収支予算書

(単位:円 平成30年4月1日から平成31年3月31日迄)

科 目	30年度予算額	29年度決算額	差 異	備 考
I.収入の部				△は予算額>前期決算額を示す
1.会費収入	5,300,000	4,816,000	△ 484,000	
2.雑収入	700,100	529,018	△ 171,082	
当期収入合計(A)	6,000,100	5,345,018	△ 655,082	

II.支出の部				△は予算額>前期決算額を示す
1.事業費				
総会経費、会誌発行、送料等	1,296,000	1,300,111	4,111	
HP維持、クラス会、学部支援	1,265,000	1,261,304	△ 3,696	
関係団体、支部、部活経費等	1,341,000	1,268,713	△ 72,287	
小計(a)	3,902,000	3,830,128	△ 71,872	

2.管理費				
人件費、会議、交通費等	1,850,000	2,005,200	155,200	
印刷、通信、消耗品	55,000	84,328	29,328	
事務費、光熱費、雑費等	193,100	194,320	1,220	
小計(b)	2,098,100	2,283,848	185,748	

当期支出予算額(B=a+b)	6,000,100	6,113,976	113,876	
----------------	-----------	-----------	---------	--

次期繰越収支差額(C=A-B)	0	△ 768,958		
-----------------	---	-----------	--	--

平成30年度 海神会 特別会計 収支予算書

(単位:円 平成30年4月1日から平成31年3月31日迄)

科 目	30年度予算額	29年度決算額	差 異	備 考
1.収入の部				△は予算額>前期決算額を示す
預金利息	15,500	15,748	248	定期、普通預金利子
収支合計(A)	15,500	15,748	248	

2.支出の部				△は予算額>前期決算額を示す
送金手数料他	0	0	0	
支出合計(B)	0	0	0	
収支差額(A-B)	15,500	0	15,500	

特別会計は、神戸大学海科学部同窓会「海神会」の基金として置くものである。



海神会への寄付一覧

海事科学部同窓会（海神会）への寄付者一覧 NO.8 （2017年10月～2018年12月）

63名の方々から1,327,000円のご寄付をいただきました。皆様からのご支援に心よりお礼申し上げます。

順不同・敬称略

	氏 名	卒業学科・期	金額(千円)
1	池田 敬滋	N17	100
2	(匿名希望)	N13	1
3	宮島 照仁	E24	10
4	稲葉 潔	N24	3
5	岡田 壯一	N2	10
6	小林多嘉男	N11	5
7	久保 雅義	N13	20
8	岡本 竜典	2017年入学	50
9	関 仁	N8	10
10	(匿名希望)	N18	10
11	八木 政年	E16	5
12	小久江 尚	N34	5
13	三隅田良吉	高等商船N44	4
14	高橋 庄平	N2	3
15	井手 祐之	E14	10
16	神崎 昭廣	E9	10
17	山内 良介	N14	10
18	藤原 義和	E17	10
19	松永 尚幸	N26	20
20	吉川 渉	N5	10
21	上田 一郎	N6	1
22	高橋 勇夫	高等商船E45	10
23	中林 正人	E1	5
24	谷 一成	N26	20
25	荒井 清明	A2	10
26	石田 廣史	N17	10
27	福岡 俊道	E20	3
28	小久江 尚	N34	5
29	竹村 太志	N3	5
30	村井 五郎	N13	10
31	細井 研二	N23	10
32	余田 光男	N5	20

	氏 名	卒業学科・期	金額(千円)
33	水間 範夫	N13	50
34	須賀 弘	N13	30
35	尾形 民雄	N29	5
36	古城 信隆	E25	2
37	泉 享弘	N11	3
38	石井 秀夫	N20	20
39	山本 十頌	N4	5
40	櫻井 正典	N34	3
41	藤井 洸	N15	5
42	鈴木 由雄	N12	10
43	黒瀬 康弘	E24	10
44	井上篤次郎	N1	10
45	安枝たけし	E14	10
46	西宮 悦夫	高等商船N44	10
47	井上 春夫	E17	10
48	柴田 康彦	N7	10
49	國枝 佳明	N27	10
50	大原 靖	E27	53
51	和具 弘之	N4	30
52	河合 道男	E27	5
53	田中 貴雄	E13	5
54	日高 厚彦	N13	5
55	尾野 勝彦	N13	10
56	武田 実	A9	10
57	空本 琢朗	2017年入学	20
58	池田 隆宏	N20	5
59	有志 一同	N23/E23/A3	30
60	村上 仁司	N17	20
61	牛島 龍彌	N13	5
62	海神会東海支部	—	505
63	長瀬健太郎	E17	6
合 計			¥1,327,000

神戸大学附属図書館海事科学分館からのお知らせ

卒業生貸出のご案内

附属図書館では、本学卒業生・修了生の学習・研究活動等を支援するため、卒業生貸出サービスを実施しています。初回利用時に登録が必要です。

- 対 象 者● 神戸大学又は神戸大学の前身となる大学等を卒業・修了・単位取得退学された方
- 登録受付日時● 平日 9:00-17:00
- 登録時必要書類● ・本人及び現住所を確認できる身分証明書（全員）
・卒業を証明できる書類（2000年以前の入学生で同窓会名簿に掲載のない方のみ）
- 貸 出 冊 数● 6冊
- 貸 出 期 間● 3週間
- 利用証有効期限● 発行年度末（以降更新）
- 通常期間開館時間● 平日 8:45-21:00 土曜日 10:00-18:00
休館日 日曜・祝日 本学創立記念日(5/15)、
年末年始(12/28-1/4)
※休業期・試験期は変更あり

詳細は下記ホームページにてご確認ください

※お問い合わせ先※

TEL:078-431-6239

E-MAIL:wlibsvc@lib.kobe-u.ac.jp

http://lib.kobe-u.ac.jp/libraries/list/kaiji/





第13回神戸大学ホームカミングデイ

2018年10月27日(土)午後、第13回神戸大学ホームカミングデイ(学部企画)が総合学術交流棟にて開催されました。

当日は海神会評議会も開催され、約50名の同窓生が参加されました。その後、同じ会場で、海事科学部ホームカミングデイが始まりました。初めに、内田学部長による挨拶・大学現況報告があり、続いて、神戸商船大学商船学部機関学科27期生(昭和57年卒)の大原靖氏(株式会社椿本チエイン 代表取締役社長)による、「世界を、未来を、動かせ。」と題した記念講演が行われました。未来をより良くする「ものづくり」、海外で活躍する卒業生たち、最高執行責任者(COO)としてのビジネスビジョン等について、豊富な海外経験をもとに熱く、時には笑いを交えながらご講演いただきました(写真参照)。同窓生からは、「大原社長の熱弁非常に良かった」、「情熱ほとばしるスピーチに好感が持てた」、「現役社長の講演は非常にためになった」等、感動が伝わる感想が多数寄せられました。

学生による研究発表では、中西 勇斗 さん(海事科学研究科博士課程前期課程1年)が、「フジツボ幼生の船底着生を水中青色LED光源で防ぐ基礎実験」と題し、強い放射強度の青色光源へ幼生が誘引行動を起こす現象を利用した新しい船底防汚研究の成果を発表しました。同窓生から、「岸壁に固定する光源は岸壁管理者の負担となり、船主は恩恵を受けるのみか」といった実務を想定した意見、「船底と船側を混同しているのではないか」等の指摘がありました。中西君が、今回の経験を研究の深化に活

広報・社会交流推進委員会 三村 治夫 E29期

かしてくれることを期待します。

梅木Yホールからエントランスホールへ会場を移しての懇親会では、大原氏をはじめ多くの方にご参加いただき、大変盛況な会となりました。最後は、大原氏のご挨拶、小田副学長の中締めで散会となりました。

神戸大学大学院海事科学研究科・海事科学部ウェブサイト

[http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/](http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/news/2018/20181114.html)

[news/2018/20181114.html](http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/news/2018/20181114.html)

もご覧ください。



E27期生大原靖氏による講演の様子



神戸大学 深江グランド芝生化によせて

この度、深江グランドに芝生が生えそろいました。商船大時代は長きにわたり土のグランドでラグビーをしていました。どれほど芝生にあこがれたことでしょう。芝生のグランドで試合をしたのは花園での入れ替え戦(CからBへ)の試合だけでした。商船大と神戸大が統合となりラグビー部は神戸大学体育会に集結しましたが、神戸大学本学にもラグビー部が使える芝生のグランドはありませんでした。ラグビー部OB会長吉川様の強い思いで芝生化に向けて動き出したのが、昨年3月、その後医学部への働き掛けもあり資金的な目処が立ち今年4月に起工式、5月にラグビー部、医学部ラグビー部、女子ラグクロス部、女子タッチフットボール部現役、OB、大学関係者で芝苗付けを行いました。今年9月の台風では後数十センチでグランドに海水が入り込むところでしたが、なんとか持ちこたえ10月に工事完成を迎えることができました。まだ十分な根付きができておらず本格的な試合は来年度以降になります。今後は維持管理が重要になり枯らすこと無く管理する必要があります。更には、シャワーのあるクラブハウスなども是非立てていきたいと考

ラグビー部OB 酒井 亮一 E24期

えます。深江の地域の方々を始め色々な方々にこの芝生グランドを使っていただければと考えます。最後に、これまで多くの方のご支援とご協力でここまでできましたが、今後も引き続きご支援のほどお願いいたします。



2018年12月14日撮影



神戸商船大学 N・E13 期 卒業 50 周年記念同窓会

代表幹事 **杉本 隆司** N13 期生
野倉 康夫 E13 期生

5 年前の同窓会では 33 名の参加でしたが、今回は 39 名の参加を得て楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

卒業 50 年で、30 名の方が他界され、亡くなられた級友へのご冥福を祈り、恩師の先生方も、或いは亡くなられ或いはご高齢でご出席はならず、50 年という時の長さを物語っている会でもありました。

半年前から前回の幹事団が集まり、時と場所をどうするかを話し合い、結局は神戸の地で、海神会のゴルフコンペに相乗りして開催する運びとなりました。

深江の地に集まり、内田先生の大学の現状についての講演を視聴の他、白鷗寮を見学、舞子の同窓会場に移り、50 年前に戻り、学生時代の思い出をはたまたこの 50 年をどのように過ごしたかを話し、これからの残りの人生をどのように過ごすか、話せば話題の尽きないことばかりで、予定の時間は瞬く間に過ぎ去り、出席者と参加出来なかった

級友へのご健康を祈り、次回再会の約束を締めの挨拶としてお開きとなりました。

宿泊組と帰宅組とに分かれ、宿泊組はカラオケに流れ夜の更けるのも忘れ、蜜声を振り上げ或いは話を続け、22 時頃お開きとなりました。

翌日は、海神会ゴルフ参加組と明石大橋ブリッジ見学組、あるいは帰宅組とに分かれ、宿泊組も散会となりました。

最後に、本会開催に当たり、海神会より支援金を頂戴いたしましたこと、厚くお礼申し上げます。



神戸商船大学 N・E23 期 A3 期卒業 40 周年記念同窓会

深鷗会代表幹事 **野村 嘉一** N23 期

実施日：平成 30 年（2018 年）9 月 29 日（土）
場 所：神戸大学海事科学部、神戸大学百年記念館（神大会館）、ポートタワーホテル

参加者：航海学科(N)：26 名、機関学科(E)：26 名、原子動力学科(A)：6 名 計 58 名

神戸商船大学 N・E 23 期生、A3 期生は、昭和 53 年（1978 年）9 月に卒業し、今年（2018 年）は卒業 40 周年を迎え、3 学科合同の同窓会を神戸にて開催した。当日は、台風 24 号の影響により生憎の雨模様であったが、13 時から神戸大学深江キャンパス（旧神戸商船大学）構内の総合学術交流棟 1 階で受付を開始し、梅木 Y ホールに集合。構内のプール東側にある卒業 30 年記念樹（毎年立派な花を咲かせているという桜）を見たのち、矢野教授（深江丸船長・海事博物館長）の案内により海事博物館、深江丸を見学し、海事博物館前にて記念撮影をした。14 時 45 分、海神会のご援助によりチャーター生じたバスで深江を出発し、神戸大学百年記念館（神大会館）へ向かった。神大会館では、雨上がりのクリアな視界となり、神戸港から大阪湾を一望できる素晴らしい眺望を背景に記念撮影、主会場のポートタワーホテルへ移動した。宴会第 1 部は、17 時 30 分から 5 階パールの間において、記念撮影後に開宴。卒業以来、5 年・10 年という節目の年には、合同の同窓会を開催してきたが、10 年、20 年、30 年振り、いやいや卒業以来というクラスメートも多く、感動の再会を果たした。勉学？、寮生活、部活、そ

してなんといっても乗船実習の話と大いに盛り上がり、美酒が進むにつれて話し声も大きくなり、時間の経つのも忘れ、賑やかに昔話の花が満開となった。また、宴会会場には、参加者に手渡された卒業アルバム（N・E・A）と遠洋航海写真集（N）の電子版写真がスライドショーで投影され、若かりし頃の時代にタイムスリップ。宴会第 2 部は、20 時 30 分から同ホテル 13 階の神戸倶楽部にて、第 1 部の勢いをそのままに開宴。機関学科の高尾君（現海技試験官）によるサックス生演奏があり、プロ級の腕前でしっとりとした雰囲気の中、演奏にも酔いしれ、大いに盛り上がった。わいわいがやがやと還暦を過ぎた身体にむちを打って、22 時頃にお開き。10 年後の卒業 50 年同窓会も開催することを有志で確認し、3 次会組、宿泊組、日帰組とそれぞれに分かれ解散した。同窓会の開催にあたり、各学科の参加者取り纏めや諸準備に奔走してくれた幹事諸兄（N）伊藤・古荘、(E) 朝村、(A) 大和・木下・北山）及び大学構内の案内と集合写真やスナップ写真の撮影に協力してくださった矢野吉治教授に心から感謝し、開催報告とする。



第 36 回白鷗杯ゴルフ大会

2018 年 9 月 27 日 垂水ゴルフ倶楽部

8 月下旬に近畿直撃の台風がたて続きに二つ襲来、一部のコースでは大きな損害があったようですが、幸い垂水ゴルフ倶楽部には大きなダメージはなかった上に、当日は好天に恵まれ、平均年齢は高いコンペでしたが 31 名がご参加頂きました。

今回の優勝者は参加者中最高齢、一桁クラスの 5 N・高田哲夫さん、2 位は昨年ベスグロを出した 11 N・山野勝三さんでした。

順位	期	氏 名	OUT	I N	GROSS	HDGP	NET
優勝	5 N	高田 哲夫	47	40	87	18.7	68.3
準優勝	11 N	山野 勝三	41	44	85	16.3	68.7
3 位	12 E	高尾 吉宗	44	42	86	15.2	70.8
4 位	14 E	手島 浩二	35	41	76	4.7	71.3
5 位	13 N	刈屋 澄世	44	40	84	11.7	72.3

海神会関西支部 支部長 **稲岡 秀昭** E16 期





最近の海事博物館

海事博物館では、2018年、文化庁の日本遺産「荒波を越えた男達の夢が紡いだ異空間―北前船寄港地・船主集落」に当館資料（和船、北前船、弁財船模型、その他関係資料）が日本遺産として他地域の関係資料と合わせて追加認定されたのを機会に、トピックス展として「和船の活躍した時代―日本遺産『北前船』追加認定記念展」を企画致しました。本企画展を開催するに当たり、8月に特別専門員4名が、富山県、石川県、福井県、京都府の各北前船資料館を訪問する研修旅行を実施し、企画展の充実を図りました。

常設展示として、進徳丸資料、深江丸資料、各種船舶模型（和船、帆船、近代船）、海事資料（レシプロエンジン模型、航海計器、航海船具等）多数を展示しております。又、11月より深江丸と共に鬼界カルディアの海中探査に活躍した遠隔操作水中探査機 ROV (Remotely Operated Vehicle) が水中探査撮影ビデオと共に常設展示されております。ROVは水深2000m潜水可能な優れたものです。

海事資料とは別に、本学卒業生の入学時各クラス集合写真を館内PCにて御覧になれます。本年度は神船大27期生

海事博物館 特別専門員 **山本 壮** A4期の還暦祝同窓会に27N、E、Aの各クラス集合写真を代表幹事に貸し出し致しました。貸し出し希望クラス幹事は海事博物館まで御連絡下さい。尚、個人の貸し出しに付きましては御遠慮願っております。（集合写真の神船大18期N、Eに付きましては、欠番と成っております。）

深江祭、ホームカミングデー、その他お近くにお寄りの節は是非、海事博物館へお越し下さい。

海事博物館は、月曜日、水曜日、金曜日の午後に開館しております。

海事博物館事務室：TEL & FAX 078-431-3564

メールアドレス：siryokan@maritime.kobe-u.ac.jp



かもめ会清掃班活動報告

―学生との合同清掃活動と梅本信子先生の思い出―

深江キャンパスの清掃ボランティア活動が開始されてから早や十余年になります。ボランティアの年間活動のうち、晩秋の恒例となっている「有志学生との合同清掃活動」を11月18日に実施しました。

深江キャンパスを活動拠点としているオフショアセイリングクラブ、カヌー部、男子・女子カッター部の学生59名がエントリーしてくれました。かもめ会清掃班は全員で8名のOB・OG部隊なので、現役学生のパワーは大きな戦力となります。広いキャンパスの殆どを作業範囲として、駐輪・駐車場の清掃、中庭の除草・清掃及びグラウンド周辺の除草及び清掃を行いました。

合同清掃活動の楽しみは現役学生とのおしゃべりです。学生生活の事や将来の進路などちょっとした会話から子や孫程の年齢差を超えた交流が生まれます。もう一つの楽しみは作業終了後の懇親会です。茶話会だけでは間が持たないので、数年前からビンゴゲームを取り入れています。ビンゴ商品の選択も学生さんの担当でユニークな商品に和気あいあいとした交流となります。

合同清掃の思い出に、梅本信子先生に参加して頂いたこともありました。それは平成25年11月のことです。

女医である梅本先生は、平成11年から梅本信子奨学金を



通じて商船教育充実のために多額の寄付活動を続けてこられました。が、昨年11月入院加療中に97歳で急死されました。

ご主人が神戸高等商

かもめ会清掃班班長 **滝本 純治** N17期

船学校の卒業生であることから、養正館が唯一高等商船時代の建物であるとの思い入れが強かったので、学生との合同清掃の作業場所に選んだのでした。作業後の懇親会で学生たちと歓談される姿を今も思い出されます。



在りし日の梅本信子先生

清掃活動の活動資金には海神会の支援を受けておりますこと、紙面を借りて御礼申し上げます。

なお、現在の清掃ボランティア会員数は8名です。年々高齢化により作業効率が下がって来ており、近隣に在住のOBの参加を募っております。海神会本部又は下記連絡先までお問合せ下さい。

N 17 滝本純治

TEL 0799-70-1681

E-mail:jktakimoto@yahoo.co.jp





練習船深江丸 (449G/T) による発展型船底防汚塗料の評価試験

船体には摩擦抵抗、造波抵抗、形状抵抗や空気抵抗の他にうねりや風浪による衝撃などが作用し、船はこれら全ての抗力とプロペラ推力とが釣り合った速力で航走します。この内、水の粘性に基づく摩擦抵抗は、低速域で全抵抗の70～80%を占め、船の速力が増すにつれて他の抵抗が増加し、高速域では40～50%になるといわれます。この摩擦抵抗を低減することは船の低燃費化と同時に、近時、地球規模で喫緊の課題である温室効果ガスの排出削減につながります。深江丸では塗料メーカーからの受託研究で2008年2月の船底整備以来、従来型の亜酸化銅を主たる防汚成分(毒性)とする自己研磨型船底塗料に続き、マグロやイルカの生体の肌を採求して開発し発展途上の低摩擦型を水線下船底の全面に試験塗装して、瀬戸内海東部の播磨灘航路中央第1号～4号灯浮標間、直線航程16海里(29.6km)を通航する都度、速力試験に臨んでいます。この試験により潮流補正後の通過実速力と燃料使用量を推算し、出渠→入渠の1年間(1塗料)における速力と燃料使用量の推移、低摩擦効果、防汚性や耐久性などを知ります。現状、低摩擦型は従来型に比べて一桁台後半の燃費改善効果を試算しています。さらに世界初の試みですが、亜酸化銅他の防汚剤の毒性による忌避・殺傷効果によらず、付着生物が船底外板の塗膜表面を水と異なる異物と認識できない、生息に適した付着表面ではないと誤認する船底塗料の実船実験に4年前

練習船「深江丸」船長 矢野 吉治 N24期から取り組んでいます。ノープリウス幼生期のフジツボ類はエビやカニと同じ分類で、1ヶ月ほどの間、活発に捕食活動をして成長し、その後キブリス幼生へと変体します。この内、後者のキブリス幼生期は付着のみを目的とすることから捕食のための口がありません。防汚剤フリー型船底塗料には5～7日間程度キブリス幼生の船体への付着を阻止して餓死させる狙いがあります。防汚剤の溶出による海洋環境負荷が著しく改善される塗料といえます。船底付着生物との戦いは人やものに乗せて水に浮く器が考案された太古から続き、未だ決着を見ない実情にあります。



発展型船底防汚塗料の評価試験



極低温液体水素の海上輸送基盤技術に関する開発研究

地球温暖化やエネルギー問題を解決するために、究極のクリーンエネルギーである水素が注目されています。水素を大量に貯蔵・輸送するシステムを確立するためには、貯蔵効率の高い液体水素(沸点20 K)を海上輸送する基盤技術の開発が急務となります。我々は、電気抵抗式の液体水素用超伝導 MgB₂(ニホウ化マグネシウム)液面センサーの研究を水素実験棟(図1、2015年完成)で行っています。これまでに高精度・高応答性の液面センサーの開発に成功しました。現在、液体水素運搬船への搭載を目指して、液面センサーの長尺化・大型化の研究を進めています。

一方、海外の未利用エネルギー(豪州の褐炭)由来水素

マリンエンジニアリング講座 教授 武田 実 A9期を液体水素運搬船で日本へ輸送するプロジェクト(2020年実施)が進んでいます。海上輸送の際には、大型タンク内部でスロッシング(液面揺動)やボイルオフ(沸騰蒸発)が発生しますので、これらの現象を把握することは非常に重要です。我々は、練習船深江丸による極低温液体水素の海上輸送実験(図2、2017年実施)に成功し、貴重な実測データを取得しました。現在、外海での輸送実験を計画しており、船舶運動とスロッシング等との相関関係を詳しく調べる予定です。

<http://www.oair.kobe-u.ac.jp/lmst/movie.html>
(深江丸による液体水素の海上輸送実験2017)



図1 水素実験棟における実験の様子



図2 練習船深江丸における実験の様子



デジタル式運行記録計データを用いた鉄道コンテナ集配トラックの運行挙動の分析

わが国の国内貨物輸送は、その約9割（トンベース）がトラック輸送で行われている。しかし近年、人口減少と少子高齢化の急速な進展から、長距離トラックのドライバーが著しく不足してきており、荷主が貨物をトラックで運びたくても運べないといった状況がみられるようになった。こうした中、トラックドライバー不足の解決策の1つとしてモーダルシフトが注目されている。モーダルシフトとは、トラック輸送を、1度に大量の貨物が輸送可能な鉄道や船舶を用いた輸送に転換しようとするもので、従来から、CO₂排出量の削減や道路渋滞の解消、エネルギー消費の節約を図るために、その促進策がずっと検討されている（図1）。しかし、これまで、モーダルシフトが顕著に促進されてき

附属国際海事研究センター 准教授 **秋田 直也** T11 期
たとは言い難く、特に、鉄道貨物輸送の分担率は極めて低い状況にある。

そこで本研究では、鉄道貨物輸送の促進を図るには、鉄道によるオンレール部分の輸送サービスの改善だけでなく、トラックによるオフレール部分の効率化を図ることが必要不可欠であると考え、オフレール部分の効率化を検討することを目的としている。具体的には、トラックに搭載されたデジタル式運行記録計のデータを用いて、現在、明らかになっていない鉄道貨物ターミナル駅に発着する鉄道コンテナ集配トラック（図2）の運行実態を把握するとともに、これらトラックの運行挙動のモデル化を試みようとしている。

研究紹介

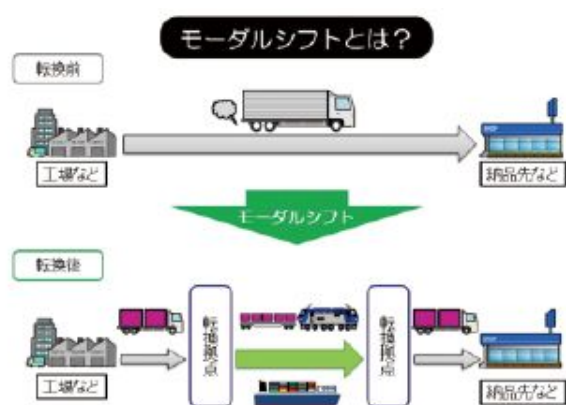


図1 モーダルシフトとは？（国土交通省 Web ページより転載）



図2 鉄道コンテナ集配トラック



自動操船用 AI の開発と実証

自律運航船に関する研究が、国内外で加速している。例えばロールス・ロイス社とフィンフェリー社は世界初となる完全自律運航フェリーのデモ航海を行った。国内では、国土交通省海事局の主導により、自動運航船の2025年までの実用化を目指している。このように船舶運航の自動化の流れは加速しているが、その実現のためには他船との衝突や座礁を回避する自動避航が不可欠であり、危険察知や回避行動の決定に関する技術的なブレークスルーが必要となる。

こうした背景のもと、様々な分野で技術革新を成し遂げている AI（Artificial Intelligence：人工知能）開発技術、その中でも深層強化学習として知られる Deep Q-Learning を船舶の衝突回避問題に適用し、3隻の自走式模型船を用いた水槽試験による実証を世界に先駆けて実施した。この成果をもとに、神戸大学、MTI、日本海洋科学が共同で提案した「人工知能をコア技術とする内航船の操船支援システム開発」が平成30年度国土交通省交通運輸技術開発推進制度に採択されるなど、海事分野にお

海洋底探索センター／海洋安全システム科学講座 准教授 **橋本 博公**

る AI 活用は社会的要請となりつつある。既に操船シミュレータと AI 搭載 PC のインターフェース開発を終えており、現在は AI が操船シミュレータ上で行った避航操船を、船長経験者や既存の評価式によって評価している段階である。なお、平成32年度には、深江丸を用いた AI 操船の実証実験を実海域で行う予定であり、その実施に向けて準備を進めている。





人生の勝ち組

株式会社椿本チエイン 代表取締役社長 大原 靖 E27 期



*** 〈はじめに〉 ***

私は、株式会社椿本チエイン代表取締役社長の大原靖と申します。

1982年3月末に神戸商船大学・商船学部・機関学科を卒業いたしましたエンジン27期生です。ちなみに白鷗寮では新寮212号室で4年間を過ごしました。

2018年10月27日のホームカミングデーでは皆様にお話をさせていただく機会を頂戴し誠にありがとうございます。またその折、テレビ局（毎日放送）のカメラクルーが入り、皆様に多大なご迷惑をお掛けいたしました。ここにお詫び申し上げます。あの日撮影させていただきました番組は「ザ・リーダー」という番組で、2019年2月10日（日）の早朝5時から放送されました。

さて本日は海神会の会報に寄稿させていただく機会を頂戴し、誠にありがとうございます。特に「若い方々に向けての寄稿文を」とのことですので、私の海外での拙い経験談や失敗談をご紹介します。そこから得た教訓や私の心情などを皆様に伝えさせていただきたいと思えます。

*** 〈日本の常識、世界の非常識〉 ***

まず、はじめに私が社長を務める椿本チエインについて少しだけお話しさせていただきます。先日の講演でもお伝えいたしましたように椿本チエインの創業は1917年、2018年度は創業101年目に当たります。偶然にも神戸商船大学の前身である川崎商船学校と同じ年に誕生しました。

私は神戸商船大学を卒業後すぐに椿本チエインに入社し、早36年が経過しました。弊社は現在、世界26ヶ国に83拠点を有し、従業員数（連結）は2018年9月30日末時点で8,781人になりました。社長として日々世界中を飛び回っております。ちなみに2018年は国内線も合わせると一年間に計91回飛行機に乗りました。

私は椿本チエインに入社後、技術部門ではなく、海外事業部に配属になりました。「なぜ、私が海外営業担当なのか？」と若干の不満も感じましたが、この時の配属こそが後の私の人生を大きく左右することになりました。そしてその後、私が出張訪問した国の数は40カ国を超えました。その訪問した先々で感じたのは「日本の常識は、世界では非常識である」ということです。

例えば、日本で小さなお子さんの頭を撫でる行為は許されますが、頭に手を触れることがタブーである国もたくさんあります。インドでは左手は不浄の手として必ず右手で食事をします。中国や東南アジアの一部の国ではトイレットペーパーを便器に流すことが許されません。詰まることを恐れての措置だと思われそうですが、使用したトイレットペーパーを付属の缶に捨てるのには未だにささかの抵抗を感じます。

余談ですが、中国語では便器のことを「馬桶」と書きます。何となくこの言葉の生い立ちが想像できるのが楽しいところです。またトイレと言えば、世界中に有料トイレがあったりします。

その昔、私が出張で訪れたとあるドイツのレストランでトイレに入ろうとした時のことです。トイレの扉には「Damen」と「Herren」の文字が掲げられており、しかもその文字の色は、どちらも黒色で同じでした。どちらが男性用なのかが分かりません。しばらくの間、誰かが来るのを待っていましたが、なかなか誰も来ません。そこで思い出したのが「吉本興業の西川きよし師匠の奥さんのお名前」です。お名前は確かヘレンさん。そうです、「Herren」が女性の名前である」という思いが頭をよぎりました。そこで意を決してDamenの方に入りました。中にはまさかの女性たちが…。その後の修羅場は筆舌に耐え難く、逮捕されずに済んだことだけは幸いでした。

現代は、昔と異なり旅客機の航続距離が伸び、様々な情報がネットを通じて一瞬にして世界中に広がります。世界との距離は格段に縮まったと日々実感します。ただ「日本の常識は未だに世界の非常識である」ことが多くあることも、理解しておく必要があります。日本固有の文化は、これからも大切にしていってほしいですが、世界の文化を学

ぶことにより、若い皆さんにはその知見を広げていただき、国際的に通用する、また失敗を恐れない人材になっていただきたいと思います。

*** 〈英語の上達は、苦い経験が近道〉 ***

話はトイレからガラリと変わります。私は1991年から1996年までオーストラリア・シドニーに、2008年から2013年まではシンガポールに海外赴任しておりました。私事ですが、私には三人の息子がおります。中でも三男はシドニー生まれです（国籍は日本です）。その当時、三人目の子供にして初めて出産に立ち会った私を待っていたのは、分娩室でのパニックでした。妻から「医師と看護師に対して通訳するように」と言われていたのですが、妻から発せられた言葉は日本語でも普段あまり耳にしない言葉の数々でした。「意識がなくなる無痛分娩や全身麻酔は嫌です。しょうき（・・・）ガスはOKですので伝えてください」と言われたのです。「しょうき？正気？勝機？商機？」「笑気です！」えっ？笑気？英語は？？「Laughing feeling Gasでいいのかな？」と悩みながら看護師に伝えました（後にfeelingは要らないと判明）。「麻酔」を英語で言うと何かな？

ほとんどジェスチャーゲームのように身振り手振りで通訳をし、妊婦の妻と同様に大汗をかいて奮闘したことを昨日のこのように思い出します。

2018年はアメリカのカリフォルニアでひどい山火事が発生しました。実はシドニーも真夏（オーストラリアは南半球に位置するため日本では真冬）に、「ブッシュファイヤー」と呼ばれる山火事が頻繁に発生します。コアラの主食とされるユーカリの木の葉には油分が多く含まれており、強い風で葉っぱ同士が擦れ合い、自然発火します。家々を焼き尽くす炎は強烈で、たとえ家にプールがあり逃げ混んだとしてもプールの上を火が渡る際に辺り一面の空気中の酸素を燃やし尽くします。プールに逃げ混んだ人々は酸欠を起こしてしまうほどです。また、炎の燃え広がりは速度は時速60kmとも言われ通常、人々は逃げ切れません。

自宅近くでそのブッシュファイヤーが発生した時のこと。ラジオから刻々と流れる避難勧告エリアを告げる緊迫したニュースに必死に耳を傾けながら、自宅住所が読み上げられないか聞き取ろうとしました。あの数日だけで私の英語のリスニング力は大幅に向上したように思います。現代のようにスマートフォンやタブレットがない時代のお話です。

以上のようにシドニー駐在員時代の「妻の出産」や「山火事」といった必要に迫られた苦い経験が、大学時代の英会話の授業（当時はDr. リビ先生）であまり上達できなかった私の英語力を急激に上達させました（リビ先生、申し訳ありません）。

*** 〈驚き、怒り、その後の努力が明日に繋がる〉 ***

私が30年以上前に訪れ、目の当たりにした海外の様子は、現在とは全く異なるものばかりでした。例えば、中国ではこれまで見たことのないような無数の自転車道が道路を埋め尽くし、国民は人民服を着用。我々外国人は外貨兌換券（当時、中国人民元は世界では流通しておらず、外国で替専門銀行の中国銀行が発行した、外国人が観光や商用で外貨を両替すると渡された紙幣）をお金として使用しなければなりません。まさに驚きの連続でした。

ただ、そんな中国で私が感じたのは、人々の溢れんばかりの情熱と熱気、そして力強さでした。まだまだ若かった私も、そんなパワーに大いに感化され、出張先で張り切った仕事をこなしたことを覚えています。また中国には、そのような底力があつたからこそ、短期間に日本を抜き去りGDP世界第2位の経済大国にまで発展して来たように思います。

ある日、香港にある射出成型機の大手メーカーに納入した弊社製品が不具合が発生させました。来る日も来る日も客先を訪問し、朝から晩まで「なぜ不具合が発生するのか？」と原因究明とそのメカニズムをつかむために客先の技術者達と一緒に調査しました。一週間後によ

く問題箇所が見つかり、一度帰国した後、対策品を携えて客先を訪問しましたが、残念ながらその後、弊社製品の採用は打ち切りになりました。客先の女性工場長から「当社とのビジネスを継続させたいのなら、もっと高品質の優れた製品を作って持って来なさい。また、あなたももっと英語力を高めてから出直して来なさい」と言われてしまいました。言われた私は本当に落ち込み、意気消沈しましたが、なぜかその後すぐに当該の客先から大口の注文書が届いたのです。どうやら私と一緒に問題究明に奔走し、汗をかくてくれた客先の技術者達から彼らの上司への進言があったようです。涙がこぼれるくらい嬉しかったことを今でも忘れません。そして個人的にはさらに英語の勉強に勤しんだことは言うまでもありません。

後日、この客先に訪問し、工場内を見渡せる場所から全生産ラインを拝見しました。そこに並ぶ数多くの全ての射出成型機には弊社の製品が取り付けられてました。横にいたあの厳しい女性工場長が「あなたが頑張って納入した商品ですよ」と微笑みながら言ってくれました。本当に感動で涙が止まりませんでした。

私が暮らしていた1990年代前半のオーストラリアでは、明らかに日本人や東洋人に対する人種差別がありました。スーパーマーケットのレジに並ぶ際、平然と横入りをして来る人もいました。ある日本人の家庭では自宅の郵便受けに生卵をぶつけられるという被害にあった人もおられました。典型的な白豪主義（19世紀後半から20世紀半ばまでオーストラリアがとった有色人種の移民を排斥する政策）の影響でした。日系企業である弊社シドニー事務所ですら英語でのイジメが存在しました。特に海外駐在して間もない若い駐在員に対し、早口の英語で「日本人の身体的欠点を口にして皆で笑う」というイジメがありました。訛りの強いオーギーイングリッシュが少しは理解できるようになっていた私は怒り心頭です。そんなつまらないことを言った現地人に、敢えて日本語で怒鳴り、「Say yes!」とまくし立てたことを今でも覚えています。日本語のわからない現地人でもさすがに私の言った日本語の意味は理解できたようで、小さな声で「Yes, sir!」と言ったのでした。クスクス笑っていた事務所のスタッフたちも「シーン」としました。幸いその後、彼らが我々日本人を英語で馬鹿にし、差別するような言動はなくなりました。

例え海外に暮らしていても「間違っていることは間違っている」とハッキリと伝えることの重要性を実感した出来事となりました。海外での嫌な辛い経験は私を成長させてくれ、またある意味、私のやる気に火を点けた原動力のひとつでもありました。

*** 〈なぜ社長に抜擢されたのか〉 ***

「なぜ、社長に抜擢されたと思いますか?」と質問されることがあります。海外での経験や実績が評価された部分もあるかとは思いますが、ただ、これまで「人と人との絆を大切に、常に関わってきた皆さんを幸せにしたい」という強い意志を持ち続けたことが、現在のポジションに繋がってきたと思っています。

長野県に「かんてんばば」のブランド名で知られる伊那食品工業株式会社という会社があります。この会社は何と48年の間、連続で増収増益を達成したそうです。同社の社長は「よい会社をつくりましょう」。塚越会長は従業員、取引先、客先や地域社会など会社を取り巻く全ての人々にとっての「よい会社」を目指しておられます。トヨタ自動車株式会社の豊田社長も標榜しておられる「年輪経営」はこの塚協会長の著書です。ぜひ、皆さんにも読んでいただきたい一冊と言えます。会社も皆さんも、年輪のように一步步成長して行くものであるという考え方です。

弊社では「つばきグループ品質基本方針」という方針を定めています。その内容は「後工程はお客様。一人ひとりが決めたことを守り、よいものを作ります」としています。品質の基本は、間接部門も含めて「一人ひとり」が「よいものを作る」ことに尽きるとの考えを表したものです。さらに弊社では創業100周年を機に新しい企業理念を策定いたしました。その名称を「TSUBAKI SPIRIT」としました。そして社会的使命に「動かすことに進化をもたらし、社会の期待を超えていきます。」を掲げています。今後とも社会の皆様のご期待を超えていくようなよい商品を作り、世の中に送り届け、従業員はもちろんのこと、弊社に関わる全ての人々を幸せにしていきたいと私は考えて

います。

お陰さまで私は海外で様々な経験をしてみいました。また、その度に非常に多くの人々に助けていただきました。そしてその都度、皆さまへ感謝の気持ちをお返しするつもりで一生涯懸命頑張り、努力して汗をかいてまいりました。ただ残念ながら、汗には努力の汗もあれば、失敗による冷や汗もあります。冷や汗をかくようなピンチの時にでも、常に仲間たちや周囲の方々が一緒になって助けてくれ苦難を乗り越えてまいりました。若い皆さんはこれから様々な試練に立ち向かわれることだと思います。自分一人では、どうしても出来ない時は回りの仲間や周囲の方々に相談し、協力し合い、一段ずつ、一歩ずつ階段を登って行っていたきたいと思っています。

*** 〈人生の勝ち負け〉 ***

最近「人生の勝ち負けって何で決まると思いますか? 社長になった人は勝ち組なのでしょうか?」といった愚問を受けることがあります。人生には「勝ちも負けもない」と思いますが、強いて言うなら前置きして「その人が人生において、何度『幸せだなあ〜』と思えたか。その回数が多い人が勝ち組だと思います」とお答えするようにしています。例え高級なものでなくとも美味しいものを食べ「美味しいなあ〜」と思えたとき、旅先で美しい景色に遭遇したとき、素敵な音楽を聴きながら癒されたとき、街なかでちょっとした微笑ましい光景に出会ったとき、本を読んで感動したとき、日常の些細な喜びを感じたとき、たとえ苦しいときでも仲間とそれを分かち合え、笑顔になれたときと・・・と、様々な場面があると思いますが「感動や喜びを何度経験できるか」「何度笑顔になれたか」、これらの経験回数の多い人が「人生の勝ち組」だと私は思っています。海外で生活している時、日本で生活する以上に大変で苦しいことも多々ありましたが、逆に日本で生活していると絶対に経験できなかったような素晴らしい場面にも数多く遭遇することができました。ぜひ、若い皆さんには様々な経験を通じ、様々な場面で幸せを感じ、是非「人生の勝ち組」になっていただきたいと思っています。

*** 〈最後に〉 ***

以前、ある人に「人を採用する時、どこにポイント置いて採用試験をされますか?」と聞かれたことがあります。さすがにもう私が弊社の採用試験に立ち会うことはありませんが、私が一番重きを置いておりますのは「この人となら一緒に仕事をしたい」と思えるかどうかというポイントです。今回、この私の稚拙な文章を最後まで読んでいただいたあなたはいかがでしょうか? 「私と一緒に仕事をしてみたい」と思っていただけで特別な方は是非、弊社にご連絡をいただきたいと存じます。仕事を通じて喜びや苦しみさえも分かち合い、一緒になって幸せな未来を勝ち取り是非一緒に「人生の勝ち組」になろうではありませんか。

「スマートで目先が利いて、几帳面、負けじ魂、これぞ船乗り」今日では、大学の名前や学部の名前も変わりましたが、そこに脈々と流れる思いや伝統は、これからも受け継いでいただきたいと存じます。

最後までお付き合いいただき誠にありがとうございました。皆様の人生航路に幸多かれんことをお祈り申し上げ筆をおかせていただきます。

ご安航をお祈りいたします。「Bon Voyage!」





梅木信子先生を偲んで

OBの活動

深江キャンパスの総合学術交流棟1階に“梅木Yホール”と“梅木Nホール”があります。この名称には梅木靖之(うめき やすゆき)・信子(のぶこ)ご夫妻への感謝と敬意が込められています。夫の靖之氏は大正6(1917)年12月8日大分県玖珠町の生まれで、海事科学部の前身である神戸高等商船学校の機関科第35期生です。太平洋戦争中の昭和17(1942)年5月、学校卒業後に日本郵船株式会社で海上勤務に就きました。一方、妻の信子さんは大正9(1920)年2月5日大分県臼杵市の生まれで、幼少期に兵庫県の加古川に移り住みました。昭和13(1938)年、当時海軍少尉で21歳の靖之氏と18歳の信子さんが出会います。

靖之氏の乗船する栗田丸(あわたまる)は昭和16(1941)年8月16日に日本海軍に徴傭され9月には特設巡洋艦に改装されています。昭和18(1943)年10月20日の午後、一千名を優に超える人員と3,700立方メートルの武器弾薬や糧食などを満載してニューブリテン島のラバウル向け中国・上海を出航しますが、この2日後の10月22日午前3時47分、北緯26度49分・東経125度03分の東シナ海で被雷し沈没しました。信子さんとの結婚前でした(信子23歳・靖之26歳)。このとき、米潜水艦グレイバックは魚雷6本を発射し4本が栗田丸に命中、そのうち1本は火薬庫で炸裂、栗田丸は大爆発し轟沈しています。生存者は乗員88名と輸送中の陸軍兵士76名のみで、乗員223名と陸軍兵士1,087名が海に消えました。

靖之氏の戦死から3ヶ月後、信子さんは大分県日田区裁判所の裁定を経て入籍、昭和19(1944)年12月28日には大分県玖珠郡玖珠町長から梅木靖之の妻たる証明書が発給されています。靖之氏の亡きあと、信子さんは医師を目指して上京し東京女子医学専門学校(現東京女子医科大学)で学び、昭和26(1951)年7月31日に医師国家試験に合格します(信子31歳)。その後、長年にわたり医師として活躍、平成21(2009)年には89歳で関西に移住し医師活動を継続します。平成11(1999)年、夫、靖之氏の後輩にあたる神戸商船大学の学生への教育支援や海外派遣などのために梅木信子奨学会が発足、大学統合後の平成23(2011)年には学生の生活支援として梅木信子奨学金が用意され、さらに平成28年3月には支援活動をより充実させるために一般財団法人梅木靖之記念財団が設立されました。また、平成25年9月には梅木信子先生のお世話を『なでしこの会』が発足しています。なお、梅木先生には平成11年7月17日～26日開催の神戸商船大学公開講座「神戸－沖縄9泊10日学びの旅」(沖縄県渡嘉敷島往復)及び平成24年3月13日～22日実施の春季研究航海(仙台塩釜港往復)のいずれも往路にボランティア医師として深江丸に乗船いただいております。



梅木靖之・信子夫妻 昭和18年9月頃

なでしこの会代表 神戸大学副学長 小田 啓二

このような中、残念なことに平成29年11月1日に散歩中転倒、肋骨と膝を損傷し神戸長田区の野瀬病院で回復療養中のところ、退院3日前の11月17日午後10時30分頃、動脈瘤破裂により97歳で永眠されました。生前、神戸大学への献体を希望されておりましたことから翌18日には医学部へ搬送、昨年(平成30年)5月29日12時15分、神戸鶴越斎場にてお骨上げしました。10月19日～11月2日に実施した深江丸の第5次鬼界(きかい)カルデラ探査航海の途次、夫靖之氏の戦没海域に最も近い鬼界カルデラの西方海域(北緯30度43分・東経130度22分)において、靖之氏の戦没日からちょうど75年のときを経た“10月22日”の日没(午後5時28分)に先生がかねてから切望の海洋散骨をなでしこの会が執り行いました。12月22日には深江キャンパスの総合学術交流棟“梅木Yホール”において梅木信子先生を偲ぶ会が催され、支援を受けた数多くの学生と社会人並びに大学教職員の他、親交のあった関係者が参列してお別れしました。

梅木信子先生の最近の著作物を次に紹介します。

- ①「死は易く生は難く候」
＜平成8年1月(株)幸書房(非売品)＞
- ②「なでしこと君に呼ばれて」
＜平成24年10月(有)海鳥社＞
- ③「ときは木の愛を誓ひて」
＜平成24年10月(有)海鳥社＞
- ④「ひとりとは安らぎ感謝のとき」
＜平成28年4月(株)KADOKAWA＞



梅木信子先生を偲ぶ会・なでしこの会代表挨拶



梅木信子先生を偲ぶ会・献花



日本の航海術の基礎を作ったウィリアム・アダムス

郷土史家 小関 彰博 (旧姓 田中) E20 期

ウィリアム・アダムスという名前を覚えておられるだろうか？三浦按針という名前の方が一般的かもしれない。日本史の教科書を思い出せない人は1980年にアメリカNBCが作ったドラマ、将軍 SHOGUN のモデルとなった英国人航海士といえば島田陽子の顔と共に思い出されるかもしれない。



伊東市にある按針像
作者重岡健治

アダムスは1600年に日本へオランダ船リーフデ号で到着し、家康の信を得て旗本として活躍、家康亡き後は平戸の英国商館で朱印船貿易家として56歳の生涯を終えた。

この冊子への原稿の題材を思案する中、アダムスが伝えた航海術が日本の航海術の基礎になっていることを思えば、彼の生涯を商船大OBの皆さんに知っていただく良い機会と捉えて小稿のテーマとした。アダムスの生涯のおさらいをしよう。

1564年、イギリスのケント州ジリングムという軍港・造船で栄える町に生まれた。12才でロンドンの

テムズ川ほとりの造船所へ弟子入り。主に航海術を学び、8年の修行を終え、航海士となり、英国海軍所属のキャプテンとしてスペインの無敵艦隊との海戦に参加している。バーバリー商会に勤め、アフリカ沿岸や北方航路探索航海へも参加した。当時ヨーロッパから東南アジアへはアフリカの喜望峯、インドを回る航路しかなかったが、この海はスペイン・ポルトガルの支配下にあった。新興国のイギリス・オランダは別の太平洋ルートを開拓してアジアへ到達しようと1598年、オランダから5隻の東洋遠征艦隊が出港し、アダムスは航海士として参加した。5隻はマゼラン海峡を越え、日本を目指すが、海難や海戦の末、アダムスが乗るリーフデ号のみが豊後臼杵に着いた。生存者は24名で、歩けるものは数名という過酷な航海であった。着いたのが1600年という日本史上特別な年だったのがアダムスの運命を分けた。臼杵では未知の国から来た得体の知れない船に驚き、通訳としてイエズス会宣教師が呼ばれた。当然、敵国であるオランダの船は海賊であるので死刑にするように宣教師は勧めるが、家康は未知の国に興味を示して大阪にアダムスを呼び、尋問を行った。通訳はイエズス会宣教師が務めるが、家康はアダムスの説明を良としてリーフデ号の乗組員を厚く処遇することとなった。敵国の通訳を介してもなお、家康が英国人のアダムスの誠をどのようにして見抜いたかに興味を覚える場面だ。家康の理系の頭脳やアダムスの高潔な人格と知性が言葉を超えて交錯する場面がアダムスの書簡から伝わってくる。この瞬間から家康が亡くなるまでの16年間はある種の友情とも呼べる関係が続いていく。家康は何度もアダムスを呼び、地球儀や海図で世界情勢や数学、天文学などを学んだ。まもなく旗本として取り立てられ、日本橋按針町に屋敷を与えられた。近くの八重洲には同僚のオランダ人ヤン・ヨーステンが屋敷を与えられたことからこの地がヤースと呼ばれるようになったのは八重洲の碑文でお読みになった方もおられるかもしれない。家康はアダムスに帆船の建造を命じる。アダムスは船大工ではないのでと断るが、失敗しても心配するなと励まされ、伊東の河口で80トンと120トンのキールを持つ洋式帆船を建造した。河口を仕切って掘り下げ、水を入れて進水させるという方式はテムズ川で学んだドック方式である。家康は乗船して見事な帆船の完成を喜び、三浦半島辺りに250石の領地を与えた。また、臼杵漂着以来、アダムスの

世話を命じられたのは、代々幕府の海軍・海運を担った向井家で、幕府御船手奉行向井将監はアダムスから西洋の航海術を学んで日本の近代の海運技術の基礎を作ったと言えよう。

平戸藩主松浦鎮信は新造船でリーフデ号の乗組員をマレー半島のバタニへ送り届けた。その返礼の様に設立間もないオランダ東インド会社は日本進出の足掛かりとして平戸に商館を設立した。1609年の事である。アダムスはこの商館設立にも尽力し、また、1613年に平戸に開設した英国商館にも大きな役割を果たした。家康の死後は英国商館員として、また朱印状貿易家としてシャム（タイ）やコウチ（ベトナム）へ航海している。修理のために滞在した琉球から持ち帰ったサツマイモは平戸英国商館長コックスが栽培した記録があり畑は県指定文化財に指定されている。祖国に帰る夢を抱きながらアダムスは病に倒れ、1620年に56才で平戸にて壮大なドラマの生涯を閉じた。商館長の日記から類推するとマラリアのようだ。

遺骸は平戸港を見下ろす崎方の丘に葬られた。私は仲間と共に命日の5月末に按針の遺徳を偲ぶ按針忌を始めて25年になる。この25年の間、国内外に多くの友人知人を持つことができた。中でもアダムスの手紙類等を所蔵する大英図書館副館長のファーリントン博士と知り合ったのはアダムス研究の大きな財産となった。オランダ大使館とも交流が始まり、市民運動のように始めた平戸オランダ商館復元実現の原動力にもなっていた。2020年はアダムス没後400周年に当たり、平戸市や関係都市で記念の行事を計画中である。今年、平戸で伝アダムス墓を発掘調査したところ、西洋人と思われる人骨が出土し、DNA分析結果を楽しみに待っている最中だ。毎年5月の最終日曜日は按針忌が営まれる。潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産になったこともあり、旅行計画を作る際には平戸を思い出してほしい。

彼の残した業績を網羅するには紙面の余裕が無いが、航海術の基礎を日本に残した彼の生涯は商船大学に籍を置いた者なら忘れずにいたいものである。



2018年の按針忌



2011年に復元された平戸オランダ商館



刑務所内で海技士免許国家試験

元運輸省首席海技試験官 **和具 弘之** N4期



昭和30年（1955年）憧れの旧神戸商船大学航海科入学、4年6ヶ月の学業を終え、昭和34年（1959年）懐かしの深江の地を離れ60年の歳月が経過しました。その間 海上勤務16余年、公務員（海技試験官）として25年、大学講師として10年余を過ごしてきました。

今回事務局から投稿の依頼がありました。幾つかのエピソードが浮かんできましたが、その中で海技試験官在任中にちょっと特異な経験をしてきましたので思いつくままですご紹介させていただきます。

海技士の免許を得るための国家試験にはご存じのように全国主要都市で行われる年4回の定期試験と、その合間に地方都市で行われる臨時試験とがあります。

免許を得るためには、筆記試験に合格し続くと口述試験（口頭試問）にも合格して初めて海技免状が交付されます。

時は昭和から平成に入って間もなくの頃のことです。船舶部船舶職員課所属海技試験官として北海道勤務をしていました。

北海道管内では2月は全国共通の定期試験はなく、道内の地方で臨時試験が行われます。今回は毎年2月に臨時試験として実施されている海技士国家試験のお話になります。

年明けて2月に入ると約一週間の予定で某刑務所へ臨時試験に出向きます。この収容所には矯正用に設備された大きく分けて11の科目があります。それぞれは被収容者の出所後の生活基盤確立のため、また訓練を通じて忍耐力・自立心等の社会適応性を培わせる目的として設置された職業訓練施設です。

この科目の一つに全国の収容所中ここだけにしかない唯一の施設として船舶職員科があります。

全国の収容所から選抜された航海科、機関科それぞれ約10名の希望者を選び、ここに集合します。訓練期間は2年、座学はもちろん乗船実習も行います。

教官は一級海技士の免許を持っておられる現役出身の先生で、船舶職員科専属で教鞭をとられています。

この収容所には乗船訓練用の練習船（100トン）を持ち、座学を行いながら、その合間をみて外海へ出て航海術、操船術の他漁業の訓練も行っています。

ここで得ることができる免許は主に四級海技士（航海・機関）と五級海技士（航海・機関）です。

平成の時代に入って間もなく北海道勤務の命を受け勤務地小樽へ向かいました。4月のことでしたので気候的にも温暖の気配が感じられポツポツ春を迎える陽気になっていて身体もそれに順応してくれたようでした。

10月の全国統一の定期試験を終え、年明けを迎え1月が終わると臨時試験が待っています。北海道もこの時期厳しくしばれる季節となり我々内地の人間には経験しないような毎日が続きます。2月に入ると約一週間の予定で出張が始まります。

筆記試験問題と事務書類を抱え、寒さをこらえながら当所の門を潜ります。事務所で一連の挨拶と試験の打ち合わせを済ませると刑務官に案内され試験会場（教室）へ向かいます。

通路脇では、20名程の別の被収容者連が朝の課業でしようか、礼（おじぎ）というたった1つの動作の訓練中で、同じ動作の繰り返しを連続1時間はやり続けるとのこと、訓練とはこんなものかと桁の違いを感じます。

そこから細く長い渡り廊下が続きます。廊下の両側には白く雪の積もった地面、その先には高さ数メートルの所内を囲む無常なコンクリート壁、頬を撫でる冷たい北西風全

く異様な雰囲気です。

お風呂場、炊事場等の一連の建物を横目で見ながら渡り廊下を通り抜けるとしっかりと扉の前へ来ます。刑務官がその扉を開鍵し中へ、更に行くともた扉、開鍵を繰り返し、ほどなく試験会場の教室へ到達します。教室では受験生全員が起立して待っています。普通ではない雰囲気が漂っています。教室の入り口では刑務官が陰から見張ってくれています。

挨拶もそこそこに着席してもらい、早速試験実施に関する説明、注意等を行いよいよ試験開始となります。

試験は筆記試験から始めます。航海科、機関科共3科目2日間の日程で行い、終了後直ちに採点を行います。試験開始から2時間30分で1科目終了、途中退場者1名も無く時間一杯使用して終了、午後の試験も全く同様終了までよく頑張ります。

一日目終了、警備の刑務官、事務官に挨拶後宿泊所へ戻ります。早速採点を始めます。ここで驚かされたのは全員の解答がほぼ満点に限りなく近いこと、どうやってここまで書けるのか不思議な感じでした。あとで聞いたのですが、教本を1枚1枚繰り返し読み、徹底した繰り返し訓練が行き届いているとのことでした。また字句のきれいで正確なことも驚きでした。

翌日午前筆記試験の結果発表を所内掲示板で行い、全員が合格という素晴らしい成績結果発表となりました。海技試験はここで終了ではありません。筆記試験の合格者に対して規定の乗船履歴を満たしている場合に行われるのが口述試験です。口述試験は航海科、機関科に分かれそれぞれ個室で一回に1名もしくは2名を選びます。試験官と受験生は数メートル隔てて同じ床面です。

受験生には乗船中の訓練内容等を聞き取りそれらを参考にしながら試験を開始します。

口述試験は受験生一人に対して試験細目に沿って約30問の質問を用意しておき、1問ずつゆっくり質問し、相手の答えが返ってくるのを待ちます。

受験生からの発言中はこちらは黙ったまま聞き取りを続け、さらに追加の発言があるかないかを待ちます。そしてよければ正解かどうか即座に判断します。

個室の扉の外では刑務官が立会い、私たちの様子を見張っていてくれます。

口述試験を一对で行うことについては、こちら側に安全上一抹の不安が無いと言えは嘘になるかもしれませんが、彼等との言葉のやりとり穏やかな顔付きから毎回好感をもって接することができました。

総合成績結果発表は数日後書面にて通知することになります。北海道局には5年間在籍したので、毎冬5年続きで臨時試験に向かいました。

結果として毎年全員合格というすばらしい成績で終始したのはびっくり、受験生の勉学の良さと教える教官の指導力には感服の至りでした。

船舶職員科の受験生（被収容者）は殺人、覚せい剤、交通事故等の罪の償いで収容されているとのこと、社会復帰を目指して頑張っている姿がありありで、船舶職員科の卒業生は出所後の再犯が殆ど無いとのこと、現在も海上勤務を続けてくれている様子です。

平成30年現在、収容所内での矯正に向けた船舶職員科の座学、練習船での実習訓練は今も続いており非常に喜ばしいことと思っています。



弓弦羽神社

私は、弓弦羽神社代々の社家（神主の家）に生まれ、神社の宮司になるべく東京の國學院大學に進む予定でしたが、帆船に憧れ、祖父・父に願ひ大学在学中に神主の資格を取る事を条件に、神戸商船大学に進みました。

弓弦羽神社は神戸市東灘区御影、阪急御影駅の南東200メートルほどの閑静な住宅街の中に位置し、社伝によれば、嘉祥2年（西暦849年）正月14日に神祠を造営したとされ、来年で御鎮座1170年の佳節を迎えます。神社には、下記の境内案内図にありますようにそれぞれ樹齢450年・250年の楠、樹齢370年の神戸市天然記念物の棕（むく）木その他、アラ桎・椎などが社叢を形成しており、境内に入ると心が洗われ清々しい気持ちになります。

昭和51年に深江の神戸商船大学航海科を卒業してからは、神戸の港湾会社に勤務しながら父を助けて神主もしていましたが、父の体調が悪くなったのを機会に平成3年退職し神社専任となり、平成8年に父の後を受け25代目の宮司に就任いたしました。平成7年の阪神淡路大震災では、神社も甚大な被害を受けましたが、氏子・崇敬者の御奉賛にて以前にもまして立派に復興いたしております。

弓弦羽神社は熊野大神をお祀りしておりますので、八咫鳥が神様のお使いです。八咫鳥は日本サッカー協会のシンボルマーク、又、昔、氏子地区の阪神御影の北側にあった御影師範は日本サッカーの黎明期の日本最強チーム。更に、六甲アイランドに本拠地を移した女子プロサッカーチーム・神戸レオネッサは翌平成27年より毎年必勝祈願に参拝されております。そのご縁を以て、境内に御影石のサッカー

弓弦羽神社 25代目宮司 澤田 政泰 N21期

ボールのモニュメントを設置しました。又、ソチに続き平昌五輪と連続して金メダルに輝いた男子フィギュアスケート羽生結弦選手のゆかりの神社としてファンの方のみならず、沢山の方が参拝に来られる様になりました。今年10月12日には来年に迎える御鎮座1170年の奉祝行事の先頭をきり新作の薪能「務古津比売命」を上演いたしました。本年1月からはいよいよ御本殿の御屋根葺替工事を始めます。御奉賛をお待ちしております。

最近では、ウォーキングが盛んで、当社もそのコースに入ることが多くなりました。手軽な散歩コースとして、当・弓弦羽神社の参拝を始点として、東隣に隣接している香雪美術館、少し北に離れますが白鶴美術館と合わせると半日コースにピッタリです。あなたもいかがでしょうか。

弓弦羽神社、香雪美術館、白鶴美術館のいずれも詳細なホームページが公開されています。散歩に先立って、それぞれ、下記のホームページを開いてご覧いただくことをお勧め致します。

① <https://yuzuruha-jinja.jp/>

② <http://www.kosetsu-museum.or.jp/mikage/>

③ <http://www.hakutsuru-museum.org/>



①



②



③



拝殿



サッカーボールのモニュメント



境内案内



絵本「かもつせんのいちにち」制作秘話



有限会社三原汽船 専務取締役 三原 康作 N20 期

福音館書店発行の幼児向け月刊誌、かがくのとも3月号「かもつせんのいちにち」の作者谷川夏樹さんと知り合ったのは、5年前、当社所属のコンテナ船で、内航船で初めて女性船長となった寺田さんからの紹介でありました。その後、7月15日を内航の日に認定する活動のなどで交流をもっていました。

●●●●●製 作●●●●●

2年前、内航船の仕事を小さい子供たちにも知っていたべく絵本を作ろうではないかということになり、製作がスタートしました。そして、典型的な内航の貨物船を紹介することになり、当社の499型の鋼材船“みつひろ7”を題材にすることにしました。

私が船長で乗船している時に、東京港に福音館書店の担当者と谷川さんに訪船していただきました。実際に、東京から千葉まで乗船していただき取材していただきました。その折、女性一等航海士や、機関長などにも話を聞いていただきました。

その後も、堺に入港した折には、小学生の子供さんを連れて、訪船していただきました。息子さんには、機関室なども案内すると、目を丸くして、興味深く質問してもらいました。

そして、メールなどでストーリーや、船体の名称など細かい打ち合わせを重ねて、今年の発行にいたりしました。

●●●●●発行後の反響●●●●●

発行後、内航新聞などにも取り上げられ、これを機会に広報活動をより活発にしようと、内航海運総連合会を中心に、各地の幼稚園や小学校などに寄贈する動きが起きました。

とりわけ、膝もとの四国から広がりを見せました。地元香川県では、浜田知事が私の高校の同級生でもあることもあって、直接、県知事に絵本を贈呈することができました。



かもつせんのいちにち表紙

した。知事からは、大変いいことなので、県としても歓迎するといっただき、また、広報に対するアドバイスももらいました。そして、秘書課の広報室のスタッフへも紹介していただきました。

ここで、県担当のマスコミに情報が入り、地元の四国新聞やFM香川、そして、朝日新聞などから取材が入りました。ラジオ番組にも、出演しました。

●●●●●三原汽船の取り組み●●●●●

当社船員は、大方の人が、一度は“みつひろ7”に乗船しているので、愛着もあります。船員全員に配布するとともに、購入希望者を募りました。50冊以上購入した人もいました。

三原汽船としても、地元に貢献したく、図書館、銀行、公共施設、ピアノ教室などに数千冊を寄贈しました。航海訓練所、商船高専など海事関係機関にも寄贈させていただきました。

●●●●●谷川氏来社●●●●●

完成のお礼にと、作者の谷川氏が観音寺の当社に来社されました。原画の“みつひろ7”のパネルをいただきました。今も、社長室に飾らせていただいております。その折も、銀行の広報や新聞社も取材に来て記事を書いてくれました。社長はじめ、スタッフと歓談され、「かもつせんのいちにち」100冊にサインをしていただきました。

帰り道、観音寺の名所で、見ると、健康でお金に不自由せずに暮らせるといわれている砂絵“寛永通宝”を見てもらいました。そして、金比羅さんにお参りして分されました。

●●●●●「かもつせんのいちにち」の魅力●●●●●

月刊誌なので、定期購読者が多く、通常でも6万部は販売するそうですが、「かもつせんのいちにち」は10万部を超えるベストセラーになりました。

子供さんはもとより、親御さんが読んで満足していく絵本になっています。

大型コンテナ船と接近する場面や、朝日の中、入港する姿など、臨場感と景色の美しさも魅力です。“みつひろ7”も、綺麗に描いてくれて満足していると思います。また、白髪のジジー船長が、髭を蓄えた素敵な船長に描いていたことにも満足しています。

内航貨物船の主流の鋼材船の仕事ぶりを、分かり易く描かれて、社会に貢献しているさまうまく表現されています。

●●●●●最後に●●●●●

香川県知事をはじめ、内航総連合会事務局の東京商船卒の同期の藤岡氏、各新聞社、ラジオ局FM香川の岡加依子さんなど広報活動を応援していただいた方々にお礼を申し上げます。

この絵本を通じて、子供たちが、未来の内航船員や船長さんになって、国内物流に貢献してくれる日を楽しみにしております。



水先人（パイロット）の日々

大阪湾水先区水先人 齊藤 志穂（神戸商船大学 53 期）

海事科学部 1 期



OBの活動

平成 20 年に神戸大学海事科学部を 1 期生として卒業し、早 10 年が経ちました。卒業したのがついこの間のように感じるのは、今も海を通して、たくさんのお世話になった方々と繋がっているからでしょうか。

私は現在、大阪湾水先区水先人会の 2 級水先人として働いております。ちょうど私達 1 期生が就職活動を迎える時期に、水先法が改正され、船長経験のない新卒者でも水先人を目指せることとなりました。初めは「なんと無謀な制度が出来たのだろう」と他人事のように思っておりましたが、ずっと海の上で働けるといふ点はとても魅力的で、思い切って挑戦してみようと決意した次第です。お陰様で、水先人となって 8 年目を迎えました。

私が仕事で一番好きなのは、晴れた爽やかな日に朝一番の入航船に乗ることです。まだ星が美しく見える夜明け前に友ヶ島沖で船に乗り、港を目指して航行しながら昇る朝日の光を浴びてエネルギーチャージ。航行中は出会う漁船や他船に苦戦しつつも、そこに何となく仲間意識が漂うのを感じ、活気ある清々しい朝を共有している感覚が味わえます。港が近付いてくれば、無線から出入港の通報などたくさんの方が聞こえてきて、それも一層やる気を増進させてくれます。そしていざ港に入ると、本船乗組員や水先人のみならず、タグボートや綱取り作業員、ポートラジオ、パースマスター等、様々な部門で働く人達が 1 隻の船を安全に着岸させることに集中します。ものすごく緊張する場面ですが、たくさんの人と一つになって目的を達成する喜びはとても大きく、幸せだなと感じます。よくよく考えたら、ビルを横に倒したような大きさの浮いた船を無事に着岸させるというのは、奇跡に近いこと。「有り・難い」ことです。こうして日々水先業務を続けられるのは、共に力を合わせて下さる周りの方のお陰と、心から感謝してやみません。

仕事を通して、時々懐かしい先輩や同期、後輩達に遭遇することがあります。乗った船の代理店担当者が部活の先輩だったり、無線から同期や後輩の声が聞こえて来たり。1 級水先人の先輩方が私の知り合いと乗り合わせて、彼らの様子を教えて下さることもよくあります。そうしてかつての仲間が頑張っている様子に触れた時は、とても元気が出て気持ちが上向きになります。海の上で「深江丸」を見かけた時も、嬉しくなりますね。移り変わる時代の中で、若い後輩の皆さんが、私が学生の頃とはまた少し違った何かを取り入れながら実習しているんだろうなと思いを馳せたりします。しかしどんなに時代が移り変わっても、きっと後

輩の皆さんも、船乗りの世界独特の仲間意識に守られ大事にしながら、社会を支える一員として花開いていくのだろうなと思っております。

船や港湾関係の仕事というのは、一般の人の目に触れる機会が非常に少なく、理解され難いというのが現状ではないでしょうか。仕事の特性上ほとんどが男性ですが、女性目線でこの業界を見られたことは、私にとって一つの収穫でした。危険の多い海や港で、体を張って働き、家族を養う強さというか、覚悟…。それに間近で触れて、「ああ、すごいな」と心から思いました。もしこの方たちのご家族が、ご主人の仕事の大変さをいまひとつ理解していないのだとしたら、「私が熱く語りますからお任せを！」と言いたくなるのが冗談ではない私の気持ちです。

長くなりましたが、8 年目に入ってもこの様に飽きることなく、充実した仕事をさせていただいております。もちろん、未熟であるが故に怖い思いをしたり落ち込んだりすることも多々ありますが、船に乗れば再び喜びのスイッチが入るといふサイクルが出来上がっているようです。これからも安全運航に努め、一社会人として世の中のお役に立てるよう精進してまいります。



海神会支援の部活動報告



学生
の活動

女子端艇部

グローバル輸送科学科航海マネジメントコース2年 主将：大西 宏美

女子端艇部は、春の全日本、秋の新人戦に向け、活動しています。長期休みは週4回、大会の前の2ヶ月間はほぼ毎日朝練をしています。2018年度の新人戦では、数年ぶりに3位になり、練習の成果を出すことができました。次の大会では優勝を目指して頑張りたいと思います。



男子端艇部

グローバル輸送科学科航海マネジメントコース3年 主将：藤田 涼平

私たち男子端艇部は、毎年5月に開催される全日本と10月に開催される新人戦での優勝に向けて練習に取り組んでいます。競技内容は漕ぎ手12人と指揮、艇長の14人で9mカッターに乗艇し往復2000mのレースで競います。12枚のオールを揃えて力強くカッターを進めていく様は圧巻です。部員全員が一丸となって漕ぐための体力と技術の向上のため、日々努力しています。また、8月には漕ぐためのカッターにセイル(帆)を取り付け、風や潮流の力を利用して瀬戸内海を旅する巡航も行っています。自然の美しさや厳しさに触れることができ、部員どうしが協力し合う重要性を知ること、チームの団結力を強化しています。

カッターの良い所は、決して一人では艇を進められないことです。クルー全員が団結して一つの艇を進めることが究極のチームスポーツであり、カッターの大きな魅力の1つであると言えます。



カヌー部

グローバル輸送科学科航海マネジメントコース3年 主将：國師 大朗

私たちは、毎年夏に開催される関西大会及び全国大会に向けて平日、休日、季節を問わずほぼ毎日活動しています。それぞれの大会では毎年、一回生から表彰台に上がる者もあり、日頃の練習の成果を発揮する機会となっています。また、大会期間中は部員全員で合宿を行い、競技力とチーム力の向上を図っています。



茶華道部

グローバル輸送科学科航海マネジメントコース4年：春奈 優香理

お点前上達に向けてのお茶のお稽古と、一般のお客様を招待してお茶会を開催しています。また、お稽古の際に着付けも習うことで、一人で綺麗に着物を着られるようにしています。



フォークソング部

海洋安全システム科学科3年 部長：内山 亮介

私たち海事フォークソング部は総員23人(4年生8人、3年生)で活動しており、構成員の幅広いジャンルを活かし、様々なジャンルの音楽(ポップス、ロック、ヘビーメタル、ジャズ、フュージョンなど)に日々取り組んでいます。

校内の部室を利用し主体的に日々技術の向上に努め、定期的にライブを神戸のライブハウスで行うことでモチベーションを皆で上げ、時には互いに厳しく時には励まし合いながらもこれら活動を通したコミュニケーションの中で同期先輩後輩との仲を深めていっています。

海神会の皆様から頂いた支援金はこうした活動の中で必要不可欠な部室のドラムやアンプ類といった機材のメンテナンスや、楽器用ケーブルといった消耗品の補充などに当て、練習に支障の出ないことを目的とし有効に活用させて頂いています。この場をお借りしまして、感謝の気持ちを表したいと思います。

今年は特に大きなイベントとして深江祭でのステージがあり、私たち海事フォークソング部から1バンド参加させて頂きました。ステージ設営及び機材運搬をBASS ON TOPのスタッフさんと深江祭実行委員会の皆さんと協



力し合い、晴れた夏の青空の下で私たちの熱い演奏を来客の皆さんに届けることができたことは、1年を通して私たちにとって特に大切な思い出となりました。

今後私たち海事フォークソング部は、構成員各々の技術の向上はもちろん、他団体や他大学との交流を盛んにしていき、自分たちの演奏をより多くの人に見て貰える場をもっと増やしていきたいと思っています。

オフショアセーリング部

グローバル輸送科学科航海マネジメントコース3年 主将：山崎 優太

オフショアセーリング部とは、クルーザーヨットを使用する部活です。ヨットは、帆を張り、風の力を使って動く船です。クルーザーヨットは、ヨットの中で寝泊まりすることができる仕様になっています。夏はヨットで瀬戸内海をクルージングし、冬はレースに出るための練習やヨットの整備なども自分たちで行います。

私達は、日々の練習の成果を発揮するため、ヨットレースに参加しています。ヨットレースで勝つためには、クルー全員のチームワークがとても大切です。普段参加しているレースでは、私達以外の参加チームのほとんどが社会人チームで、いつも互角以上の勝負をしています。多くの艇が参加するレースはとてもエキサイティングです。また、毎年3月に行われている、全日本学生外洋ヨット選手権に毎年出場し、2017年の大会で優勝し、3連覇を達成しました。そして、フランスで開催される世界選手権に出場し、初優勝という大記録を打ち立てました。



弓道部

海事科学部1年：崎田 楓真

深江キャンパスにある弓道場で週2～3回練習をしています。弓道は「道」であるため、礼儀を大事にしていますが、みんなで楽しくやっています。まだ部員数が少ないため、これから人数を増やしていきたいです。





乗船実習科機関課程を終えて

現在私は乗船実習科を修了し、現在は前期博士課程に入学して深江キャンパスで日々研究と学業に励んでいます。研究室では主に水素の海上輸送にかかわる研究に取り組んでおり、特に私は液体水素というマイナス 253℃という非常に低い温度の液体にも使用可能な新しい流量計の開発に向けての基礎研究を行っています。2018 年は 1 月上旬から 9 月中旬までのほとんどが乗船実習でしたので、10 月に大学院に入学した当初は、久しぶりの陸での学生生活が逆に新鮮に感じられました。しかし、一旦陸の生活でのリズムが整ってしまうと、今度は船での生活が遠い昔のことに思えます。

海技士（機関）の免許取得のために船に乗るには、熱力学や電気や材料のことなど様々な分野の知識を広く持たなければなりません。それに加えて船特有の専門分野の知識や経験則も必要となってきます。船に広がっているそういった深い学びの世界に魅了され、私は 1 年間の乗船実習に取り組みました。実習の中では、船に関する学習だけではなく、船内生活や寄港地の人々との交流も、私の人間的な成長を促したように思います。特に遠洋航海で訪れたハワイやウラジオストクなどの現地



の方々との交流を通じて様々な価値観や文化に触れたことにより、新しい世界の視点が生まれ、自分自身を見つめなおす素晴らしい機会となりました。

今年は機関科の女子学生が特に少なく、ご指導

海事科学研究科 超伝導科学研究室 博士前期課程 1 年 佐藤 更

くださりながらも様々な面でお手数をおかけしました練習船の士官の方々や大学の先生方にはとても感謝しております。たくさんのご支援の中で私は、陸からの視点、海からの視点の両側から海事科学について存分に学ぶことができ、充実した学生生活を送ることができています。特に、乗船実習科に進学した後に大学院へ進学する学生はとても少ないですが、乗船実習によって垣間見た現場の目線を持ち合わせた上で研究に取り組めるのは、とても素敵なことなのだと日々感じております。そういった環境がある海事科学部・海事科学研究科のような教育機関は、非常に貴重なのではないかと思います。

大学院での研究に取り組めば取り組むほど、それらの研究や技術が集約された船にますます興味が湧き、船や海にある広大な学びの世界にもっと触れたい、船にかかわる仕事をしたい気持ちが大きくなります。将来は、海上職・陸上職関係なく、海事クラスタの一員として、社会に貢献していきたいと考えております。



遠洋航海を経て

海事科学研究科 海事政策科学研究室 博士前期課程 1 年 中村 絃人

自身は現在、船会社には就職せずに大学院に進学し、その学をより深めています。しかし、同級生と共に遠洋航海で太平洋を渡り、ロシアのウラジオストク、シンガポールへの航海を経験してきました。

2018 年 1 月 4 日、まだ世間は正月覚めやらぬ中、海王丸に乗船しました。多くのギア、セイルがある甲板上でわけも分からぬままだを回したのを覚えています。その後、九州各港及び広島港を経て大阪港へ。大阪港では海王丸リターンズとして多くの方々の前で登壇をさせていただきました。忘れることのない感動を味わわせていただきました。乗船した当時はたじたじだった実習生も、この頃には展帆縮帆もすばやく行えるようになり、乗組員の一員だという自覚を持って乗船に取り組んでいました。自分たちが一致団結しなければ船は動かない、そして船内生活一つとっても協調していかなければならない。婦島岩までの帆走では、初めての帆走当直に疲労する中、皆で励まし合いました。限られた生活空間、資源のもとで太平洋を



渡りハワイへ到達する達成感、またウラジオストクでは英語も通じない街中であんなにかコミュニケーションをとる国際的な交流は、自分を大きく成長させてくれました。9 月に下船し、同級生はみな会

社の船に乗り次の航海を始めています。下船してまだ半年も経っていないですが、近況を聞くと自分の知らない世界が新鮮で、またうらやましくもあります。しかし、自分には海事教育に携わりたいという夢があるため、その夢に向かって今は知識を深めるべく研究を続けています。海上法規についての研究のため、毎日多くの資料を読み、図書館にこもることも少なくありませんが、先生方の教えはすばらしく、たどたどしい自身の研究にも真摯に付き合ってもらっているため、研究はどれも楽しく興味深いものです。他にも、大学院生として学部生の後輩たちの面倒を見たり、TA として授業に参加させていただいたり、新鮮で充実した生活を送っています。まだまだ浅学で経験の少ない自分を、先生方は優しく、時に厳しく指導してくださるおかげで、毎日の一つ一つが自信へとつながっています。

こうして大学院で自分のしたい研究ができているのも、乗船実習で自身の能力を磨き、船員としての第一歩を踏み出せるのも諸先輩方のご支援があるからです。そのことを忘れずに、また自分を過信せずに、海事社会に感謝を還元できるようこれからも精進していきたいと思っています。





若者からの近況報告

私は、ここ海事科学部で、部活動や留学、研究活動等、非常に多くのかけがえのない経験をさせていただくことができました。

部活動については、体育会オフショアセーリング部に所属し、4年間ヨットの練習や整備に励みました。多くの

グローバル輸送科学科ロジスティクスコース4年 守屋 有紗

困難を乗り越え、最後の年にはフランスの世界大会でアジアチーム初の優勝という快挙を達成することができました。その時の感動は一生忘れることができないほどとなりました。

留学については、学部協定校のオーストラリアの大学へ2週間、全学協定校のチェコの大学へ1年間派遣していただきました。慣れない土地での生活は毎日が刺激的で、他ではできない本当に貴重な経験をすることができました。

現在は、先生方のご指導の下、海運経済についての研究を行っています。卒業までに少しでも海運に関する知識を身に付け、研究結果を残すことを目標としています。

このように、大学生活ではこれ以上ないほどに多くの貴重な経験をさせていただくことができました。このような経験ができたことは、先生方、先輩方、海神会の方々のご支援のおかげだと感じています。心より御礼申し上げます。

今後ここで学んだことを活かして、様々なことに挑戦していきます。



Student Yachting World Cup 2017 フランス マルセイユにて



海外留学は楽しいです！

海事科学部に入学して5年が過ぎようとしています。私は英語学習に積極的に取り組みました。3年生の時に一年間休学して、語学留学のためにイギリスへ渡りました。現地では様々な国から留学している、価値観の全く異なるたくさんの方と話をし、多文化理解のみならず様々な刺激を受けることができました。この時の経験は、これからの私の人生に大きな影響を与え続けていると思います。

4年次は、特別研究をがんばりました。コール酸ナトリウム環境下での海洋微生物の増殖について研究しました。実験自体は寒天培地上の微生物の増殖割合を定期的に測定するという地道な作業が続きましたが、その一つ一つのデータが生み出す結果から海洋微生物の生態について理解を深めることができました。

音楽が好きで普段からレコードを買い、ギターを弾いている私は、音楽をとおして世界の様々な人と仲良くなることができました。この体験から大学生活では勉強だけをやるのではなく、好きなことに打ち込むことも大切だと思います。

4月から半導体製造装置の製造と販売を行う会社に就職します。この会社は海外の売り上げ比率が非常に高く、留学の経験を活かしたいと考えている私にとって魅力のある就職だと思います。これからは世界を舞台に、半導

海洋安全システム科学科4年 上西 量也

体製造装置という業界から世界の発展に貢献できればと考えています。

大学生活は最後の自由な時期であると思います。新入生の皆さんには勉強や趣味など興味があることにはなんでも挑戦し、充実した学生生活にしていきたいと思います。



向って左が筆者



学生生活を振り返って

私は4年間のキャンパスライフのほとんどを海と共に過ごしてきました。乗船実習などはもちろん、部活動でもヨット部に入部し、日々荒波に飲まれていました。陸に目もくれずに4年間やりきったおかげか、目標であった全日本イ

グローバル輸送科学科・航海マネジメントコース4年 中尾 友海

ンカレの個人戦にも出場できました。ヨット競技というのは気象海象に非常に左右される競技であり、風が弱ければまったく進まず、逆に強すぎればすぐに転覆し命の危険すらあります。そんな海上という厳しい環境の中で荒波に飲

まれることで、船乗りとして、人として大きく成長させていただくことができました。さらに部活動を通して自分が本当に沢山の人ののおかげで、様々な素晴らしい体験をさせていただいていることを実感しました。この4年間、私を支えて頂き成長させて頂いた海と人に本当に感謝をしたいと思います。

さて私は本年、3ヶ月の乗船実習と6ヶ月の社船実習を経て、新人航海士として働き始めます。これからの長い人生も海と沢山の人の支えられながら、荒波を乗り越え成長させて頂きたいと思います。一日も早く立派な航海士になれるよう努力致しますので、海神会の先輩方には、今後ともご指導ご鞭撻の程をお願いいたします。



全日本学生ヨット個人選手権大会にて、写真中央（セールに神戸大学のロゴ）の艇から身を乗り出しているのが筆者



学生生活を振り返って

初めまして、機関マネジメントコース所属の田村敢です。機関士として外航海運会社から内定を頂きました。機関室にはプロペラを回すための主機関だけでなく発電機や造水器などから冷凍装置に至るまであらゆる機器があり、それら全てを扱うのが船舶の機関士の仕事です。あらゆる機器に精通しているエンジニアになりたいと思い船舶の機関士を目指しました。

卒業論文は本学の練習船深江丸の整備記録を分析し、機関室機器の故障傾向を調査するというものでした。就航以来の30年間分の整備記録を全てエクセルに打ち込み作業を分類していくという大変な作業でしたが、機関室を構成する機器の細部構造について知見を深めることができ、大きな達成感を得ることができました。

直近の目標は、これから乗船する海技教育機構の練習船での3ヶ月の実習や内定先の社船での半年間の実習で、失敗を恐れずに積極的に実習に取り組み、他の実習生たちよりも多くの機関士としての技術を身につけることです。

マリンエンジニアリング学科 機関マネジメントコース4年 田村 敢

このことは、これから初めて練習船で1ヶ月実習する二回生や2回目の乗船実習で2ヶ月間乗船する3回生たちにも意識して取り組んで欲しいです。



在学中4年生



児童の安全を祈り

翻る信号旗UW

阪神深江駅から東へ一歩目の踏切の北側にある東灘小学校の屋上に掲げられたUW旗がフツ目に入った。

会員諸君もよくご存知のとおり、UW「航海の安全を祈る」を意味する国際信号旗、旧い人は信号が改正される前の（三字信号の頃の）WAYの方が馴染があるかもしれない。

小学校に何故UWが、と思い調べてみたら9月3日の神戸新聞に詳細な校長先生のインタビュー記事が掲載されていた。

ある日、東灘小学校の戸田信示校長先生をお訪ねし、神戸商船大学OBの中に東灘小学校出身者居ることもお話し、ますますのご縁を感じた。

それにしても校長先生が船が大好きで、ご自身が持っておられたUW信号旗を学校の屋上に掲げるという自由な発想に感心させられる。

深江の漁師さんから寄贈されたという大漁旗も校舎の壁に飾り、運動会には児童達が応援合戦の時に振り回しているという



海事博物館 特別専門員 岡本 泰一 N4期

ユニークな学校でもある。

信号旗を通じて児童が通学の途上に交通事故やいまわしい被害に遭わないように祈り、折に触れて旗の由来を伝え自分の命を大切にするように呼びかけて居られるとのこと。

また、かつては漁港として栄え、近くに神戸商船大学があったこの深江の歴史を知ってほしいとの願いも込められている。

このように児童達を気遣い、児童との距離を縮めて心を伴う教育をして下さっている先生方のご苦勞に敬意を表したい。

できれば児童達が心豊かな人物に育って海事科学部にUW旗を掲げてくれることを祈っている。



認知症予防道場の紹介

神戸大学 キャンパスシニアジム(コグニケア)

認知症を学び、予防を目指そう

コグニケア

・6ヶ月20回コース(年間40回コース)

・開講日:2019年4月・10月

第一期は2018年11月に開講中

・参加対象者:60歳以上の本学卒業生・ご家族様

コグニケア(Cogni CARE)とは、認知症予防を必要とされる60歳以上の方に、運動や認知トレーニングなど多面的に予防にいいものに、取り組むプログラムの総称です。神戸大学の研究者達が、最先端の研究を基盤に考案しました。

コグニケアってなに？



週1回、60分の実践トレーニングの場に参加いただき、脳と運動のトレーニング、特に二重課題の運動を実践活動認知症に係る話題の意見交換を中心に、1年間の活動を続けます。また、1年に1回認知機能の測定と、認知症に係る身体・血液検査を行います。

【推薦の言葉】神戸大学は、培ってきた研究成果を日本全国に向けて発信していきます。「認知症予防プロジェクト」はその一つです。しかも、今回のお誘いは、同窓生ご自身の健康増進のみならず、皆様のご参加が、新たに進化した「認知症予防プロジェクト」の開発につながります。懐かしい学び舎に戻って、新しい神戸大学で、同窓生の集いとしても、人生を楽しみましょう。皆様のご参加をお待ちします。

神戸大学学友会会長 原 俊雄

【説明会及び無料体験会】

・研究員による無料事前説明会や約1時間の無料体験会を今後予定していきます。ご質問やご相談もしていただくことができますので、ぜひお越しください。大学のHP等を通じて、案内します。

【第二期開講予定】2019年4月・10月 *各クラス 定員15名 *開催日:水曜日(午後)

【受講料】6ヶ月で27,000円(4,500円/月)、1ヶ月単位の支払いは5,616円と割高

・認知症検査は、1年に1度実施し、実費2,000円(税込2,160円)です。

【問い合わせ先】:email:padinfo@org.kobe-u.ac.jp

神戸大学保健学研究科 総務係:078-796-4502(月~金:9~17時)



外国航路よもやまばなし 最終回

7号以来10年にわたり掲載されましたこのシリーズ、本号で連載終了となります。ご愛読ありがとうございました。

神戸高等商船航海科 村田 惇雄 43期生

おわりに

時には世界地図を拡げ、楽しみ多かった海上生活を思い出すことがある。カリブ海の島々、酷暑のペルシャ湾、北欧諸国、南米、北米、パナマ運河、ミシシッピー河、など次から次と思い出はつきず、つい時間のたつのを忘れることがある。小生、現在身長169センチ体重62キロ今のところ至って健康で毎日1時間の散歩、ハイキング、登山、写真、パソコン、グランドゴルフなどを楽しんでおり、同級生た

ちが、どうやらお前が一番元気だと言ってくれる。しかし、なんといっても、年齢が年齢だから、いつお迎えが来るかもしれない。あの世ではエンマ様が新入りに対して、「お前は前世でどのようなことをしてきたか」とお尋ねになるそうだが、自分のことを申し上げたら「そうか、お前はよくやった」といっていただけるような人生を送りたいものである。



海神会事務局からのお知らせとご案内

2019年2月吉日

神戸大学海事科学部同窓会 海神会会員の皆様へ

海神会会費納入・寄付金のお願い

日頃より「海神会」を物心両面にわたりご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

当同窓会は、会員相互の交流・親睦を図り、母校の後援を通じ海事科学部・海事科学研究科および海事科学技術などの発展に寄与することを目的として活動し、各種事業を行っています。

事業内容としては、同窓会名簿の管理、同窓会誌の発行、記念クラス会開催支援、海事科学部の年間行事・環境整備などへの支援、クラブ活動への支援、海神会賞の贈呈、また主要都市に支部を設置し、地域での活動の支援等、積極的に行っています。そしてこれらの事業活動は会員の皆様から頂く終身会費収入とご寄付によって支えられています。

しかしながら同窓会会費収入の現況は厳しく、大学統合による海神会設立から15年という事情もありますが特に商船大学卒業生の終身会費納入率は低迷しており、次年度（平成31年4月1日）より終身会費を4万円に改定することとなりました。当然ながら同窓会としても会費納入率の上昇を図るとともに、引き続き経費削減に努めてまいります。会員の皆様には当会の現状をご賢察いただき、さらなるご支援とご協力をお願いいたします。

つきましては下記の要領で終身会費及びご寄付の納入を賜りたくお願い申し上げます。

記

付記事項

- 現在の終身会費は30,000円ですが、来年度(平成31年4月1日)から40,000円に改定されます。
- 但し、すでに完納されている会員及び一部納入済み会員の方は、適用対象外となります。
- 平成31年度新入生の終身会費は40,000円で一括納入となります。
- 来年度以降、終身会費の新規納入は一括納入のみで、分割納入制は終了します。
- 終身会費を完納されている方には寄付のお願いをしています。納入は1,000円単位となっています。
- 会費をまだ完納されていない方は、寄付金よりも残りの会費を優先して納入してください。残額の納入は5,000円単位です。
- 同封のゆうちょ銀行「払込取扱票」に必要事項をご記入の上、郵便局にてお振込ください。
- 会費を完納された方には会員証を送付します。大切に保管してください。
- 同窓会口座への振込みはATMからでもできます。(振込みの通信欄に会費・寄付の別を明記下さい。)

振込先：ゆうちょ銀行 振替口座 00900 - 5 - 269639

名 義：神戸大学海事科学部同窓会

- その他ご不明な点等ございましたら、事務局までご連絡ください。

【海神会だよりの送付について】

現在、海神会だよりは会員全員にお届けできていません。会費完納又は一部納入の方（送付宛名ラベルに1/6～6/6と印字）には毎年送付しています。経費の都合により、会費未納の方には原則送付していません。ただし一定数の未納者（同0/6と印字）には会員名簿のメンテナンス、母校の最新情報照会、終身会費の納入依頼のために毎年卒業期単位で順次送付しています。何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

海神会事務局

〒658-0022 神戸市東灘区深江南5丁目1-1 神戸大学海事科学部内

Tel&Fax：078-431-6439

e-mail：almamata@maritime.kobe-u.ac.jp ホームページ：http://www.fukae.org/

